

優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の 推進にかかる文部科学大臣表彰

子どもたちの健やかな成長のためには適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠など基本的な生活習慣が大切です。文部科学省では、「早寝早起き朝ごはん」運動など、子どもの生活習慣づくりに関する活動のうち、特色ある優れた実践を行い、地域全体への普及効果が高いと認められる活動に対し、文部科学大臣表彰を行っています。今年度は、全国で51活動が、優れた活動として認められ、令和5年2月に文部科学大臣表彰を受賞しました。千葉県内では1つの活動が認められました。

令和4年度 受賞活動

たくましく生きる五小っ子プロジェクト（茂原市立五郷小学校）

企業と連携した出前授業



「早寝早起き朝ごはん」を推奨し、健康に気を付けながら望ましい生活習慣を形成できる力の育成を図るため、平成28年度から3年生を対象に企業（千葉県ヤクルト販売株式会社）と連携して出前授業を行っています。

事前に行った生活リズムアンケートの結果を共有しながら、理想の就寝・起床時刻を考えることで、規則正しい生活習慣への意識が高まりました。

地域人材・団体の協力

地元の地域人材および地域団体（早野地域資源保全会）の協力のもと、5年生が地域の水田を活用して、田植えと稲刈りの体験を行っています。

自分たちの住んでいる地域で、自分たちが育てたものを食べることで、地域に対する誇りを抱くようになりました。



家庭との連携

保護者を対象に、PTAによる家庭教育学級で「給食試食会」を実施しています。

栄養教諭等が「グーパー食生活」や「カルシウム」などについて、講演を行うことで、家庭でも栄養のバランスを意識した献立作りを行ってもらえるようにしています。

タブレット端末の活用

3年生から6年生までの児童が、健康観察アプリを活用して朝食の有無等を毎日入力しています。児童の朝食に対する意識の向上が図られるとともに、教職員も普段から朝食をとれていない児童を把握でき、個人や全体に対して手立てを講じることができるようになりました。

【お問い合わせ先】教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 電話043-223-4167